

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/25】

男子Dリーグ戦

石川県選抜

2	－	0
6	－	0
2	－	3
3	－	1

4 高知県選抜

PSO

御崎 智徳

審判：

松本千菜津

この試合のプレー集計

石川県選抜	18	SH数	10	高知県選抜
	3	速攻数	0	
	13	ST・SB	8	
	6	SH・P誘発アシスト	0	
	33%	GK阻止率	19%	
1	EX反則数	1		

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

決勝トーナメント進出を決めている石川と予選リーグ敗退となった高知との予選リーグ最終戦。実力差はある対戦であるが、石川の攻撃に対して1対1で負けないディフェンスをどこまで高知が展開できるか。対する石川は決勝トーナメントを見据えて、「泳ぐ石川水球」を継続できるかどうか。

【1P】

石川④松野の先制点でゲームが動き始めた。動きの少ない高知相手に石川ディフェンスは余裕の対応でボールを奪い、基本に忠実な右サイドからのジャストパスを受けて左から流れ込んだ④松野が追加点をあげて、石川2－0高知で第1ピリオド終了。点数は取れていないが、試合運びとしては危なげない展開。全力プレーは温存している状態で、結果的にシュートは3本に留まってしまった。やや引き気味の高知ディフェンスを崩すまでに至らなかった第1ピリオドだった。

【2P】

センターボール攻撃から石川センター⑥水浦が決めて3点目。続けて⑦前田、④松野らが立て続けにゴールを決めて点差を広げる。高知は石川サイドにまでボールがほとんど入らない、防戦一方の状態となった。その結果、高知のシュート数はゼロと全く攻撃がつかない状態となった。一方的な展開となった第2ピリオド、石川8－0高知で前半を折り返した。

【3P】

センターボールを奪った高知がそのまま⑤別府の6mシュートを決めて1点を返すと、徐々に高知側にも攻撃意欲が高まってきた。石川のセンター攻撃のボールを⑥前田がスチールしてから右サイドを攻め、⑧徳弘が決めて連続得点。その後、石川⑨徳田らに追加点を奪われるが、石川の攻撃ミスを突いて⑤別府がこの試合2点目をマーク。このピリオドは高知が3－2と石川を上回った(石川10－3高知)。

【4P】

ピリオド中盤まで双方決め手を欠く展開だったが、往復が続いた高知に疲労が目立ち、ピリオド中盤から石川が⑨徳田、⑩前田、④松野の3連続得点で点差を広げた。高知は最後にタイムアウトを取ってから⑤別府がこの試合3点目をあげたが、ここで力尽いてしまい、石川13－4高知で試合終了。

ここ数年、高知は現在高校3年生のローリーを軸に全国大会でも上位躍進してきたが、その軸が不在となった今、正念場を迎えている状態だ。練習量や組織力ではなかなか活路を見出しにくい環境なだけに、ユニークな選手発掘で再発展を期待したい。石川は決勝トーナメントでは、三重、その後は群馬との対戦が予想され、どの試合も接戦が予想されるだけに、エース⑥水浦を軸とした攻撃力と守護神GK①三谷を中心とした守備力で上位進出を狙いたいところ。